

令和8年 水稻病虫害発生情報 第1号
(6月中旬)

1 イネミズゾウムシ (発生量：多い)

(1) 発生概況

発生地点率及び被害度は、津軽地域、県南地域ともに高かった。

(2) 今後の防除対応

被害が多い水田では、次年度以降育苗箱施用剤による防除を実施する。

表1 6月中旬巡回調査におけるイネミズゾウムシ被害 (被害度)

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率 (%)				発生地点 率 (%)	被害度
			甚(>70)	多(>50)	中(>20)	少(>0)		
津軽	本年	25	0	0	28.0	48.0	76.0	11.2
	前年	25	0	0	0	32.0	32.0	1.3
	平年	33	0	0	14.9	51.9	66.8	7.5
県南	本年	15	0	0	20.0	60.0	80.0	8.7
	前年	15	0	0	13.3	53.3	66.7	7.0
	平年	25	0	0.3	16.0	46.8	63.1	7.4
県計	本年	40	0	0	25.0	52.5	77.5	10.3
	前年	40	0	0	5.0	40.0	45.0	3.4
	平年	58	0	0	15.5	49.5	65.0	7.5

2 イネドロオウムシ (発生量：少ない)

(1) 発生概況

発生地点率は、津軽地域で平年並、県南地域で高かった。

被害度は、津軽地域、県南地域ともに低かった。

(2) 今後の防除対応

被害が目立ち、幼虫が見られる水田では速やかに薬剤散布を実施する。

表2 6月中旬巡回調査におけるイネドロオウムシ被害 (被害度)

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率 (%)				発生地点 率 (%)	被害度
			甚(>70)	多(>50)	中(>20)	少(>0)		
津軽	本年	25	0	0	0	40.0	40.0	2.8
	前年	25	0	0	44.0	32.0	76.0	13.0
	平年	33	0	0.4	11.5	31.1	43.0	5.1
県南	本年	15	0	0	0	20.0	20.0	0.3
	前年	15	0	0	6.7	26.7	33.3	3.1
	平年	25	0	0	1.0	13.0	14.1	0.9
県計	本年	40	0	0	0	32.5	32.5	1.9
	前年	40	0	0	30.0	30.0	60.0	9.3
	平年	58	0	0.3	7.3	23.3	30.9	3.4

3 イネヒメハモグリバエ、イネハモグリバエ（発生量：少ない）

（1）発生概況

イネヒメハモグリバエの発生地点率及び被害度は、津軽地域、県南地域ともに低かった。イネハモグリバエの被害は認められなかった。

（2）今後の防除対応

発生が長期にわたる場合は、薬剤散布を実施する。

表3 6月中旬巡回調査におけるイネヒメハモグリバエ被害（被害度）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率（%）				発生地点 率（%）	被害度
			甚(>70)	多(>50)	中(>20)	少(>0)		
津軽	本年	25	0	0	0	0	0	0
	前年	25	0	0	0	0	0	0
	平年	33	0	0	2.9	51.5	54.5	4.2
県南	本年	15	0	0	0	6.7	6.7	0.1
	前年	15	0	0	0	13.3	13.3	0.4
	平年	25	0	0	0	32.0	32.0	1.3
県計	本年	40	0	0	0	2.5	2.5	0.0
	前年	40	0	0	0	5.0	5.0	0.2
	平年	58	0	0	0.1	37.6	37.7	1.3

表4 6月中旬巡回調査におけるイネハモグリバエ被害（被害度）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率（%）				発生地点 率（%）	被害度
			甚(>70)	多(>50)	中(>20)	少(>0)		
津軽	本年	25	0	0	0	0	0	0
	前年	25	0	0	0	0	0	0
	平年	33	0	0	0	0	0	0
県南	本年	15	0	0	0	0	0	0
	前年	15	0	0	0	0	0	0
	平年	25	0	0	0	0.6	0.6	0.0
県計	本年	40	0	0	0	0	0	0
	前年	40	0	0	0	0	0	0
	平年	58	0	0	0	0.1	0.1	0.0

4 フタオビコヤガ（発生量：平年並）

（1）発生概況

発生地点率は津軽地域で高く、県南地域で低かった。

被害度は津軽地域でやや高く、県南地域で低かった。

（2）今後の防除対応

7月上旬に被害が目立つ水田では薬剤散布を実施する。

表5 6月中旬巡回調査におけるフタオビコヤガ被害（被害度）

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率（％）				発生地点 率（％）	被害度
			甚(>70)	多(>50)	中(>20)	少(>0)		
津軽	本年	25	0	0	0	24.0	24.0	0.6
	前年	25	0	0	0	12.0	12.0	0.6
	平年	33	0	0	0	15.2	15.2	0.3
県南	本年	15	0	0	0	0	0	0
	前年	15	0	0	0	0	0	0
	平年	25	0	0	0	12.1	12.1	0.3
県計	本年	40	0	0	0	15.0	15.0	0.4
	前年	40	0	0	0	7.5	7.5	0.4
	平年	58	0	0	0	14.8	14.8	0.4

5 斑点米カメムシ類（参考調査）

（1）発生概況

6月中旬の畦畔すくい取りにおいて、西北地域の1地点で30頭以上が捕獲され（甚発生）、アカスジカスミカメの若齢幼虫から成虫まで幅広い生育ステージがみられた。

（2）今後の防除対応

草刈りは7月中旬までに雑草が開花・結実しないように適宜行い、イネの出穂1週間前までに終える。

表6 6月中旬巡回調査におけるアカヒゲホソミドリカスミカメの捕獲数

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率（％）				発生地点 率（％）	平均捕獲 数（頭）
			甚(>30)	多(>10)	中(>3)	少(>0)		
津軽	本年	25	0	0	12.0	24.0	36.0	1.1
	前年	25	0	0	0	28.0	28.0	0.4
県南	本年	15	0	0	0	6.7	6.7	0.1
	前年	15	0	0	6.7	0	6.7	0.3
県計	本年	40	0	0	7.5	17.5	25.0	0.7
	前年	40	0	0	2.5	17.5	20.0	0.4

表7 6月中旬巡回調査におけるアカスジカスミカメのすくい取り虫数

地域	年次	調査 地点数	程度別発生地点率（％）				発生地点 率（％）	平均捕獲 数（頭）
			甚(>30)	多(>10)	中(>3)	少(>0)		
津軽	本年	25	4.0	8.0	8.0	16.0	36.0	3.2
	前年	25	4.0	4.0	4.0	24.0	36.0	3.8
県南	本年	15	0	6.7	20.0	13.3	40.0	2.8
	前年	15	0	0	20.0	13.3	33.3	1.5
県計	本年	40	2.5	7.5	12.5	15.0	37.5	3.1
	前年	40	2.5	2.5	10.0	20.0	35.0	3.0

注1）6月中旬の斑点米カメムシ類すくい取りは参考調査のため、平年値はない。

注2）調査ほ場の畦畔は除草済みのため、除草されていない周辺ほ場の畦畔を中心にすくい取りを実施。

6 いもち病（葉いもち初発未確認）

（1）発生概況

6月22日現在、本田における葉いもちの発生は認められていない。

（2）今後の防除対応

- ① 取置苗は葉いもちの発生源となるので、水田内や周辺に放置しない。
- ② 常発地や葉いもちに罹りやすい品種を作付けしている水田で箱施用剤や側条施用剤を使用していない場合は、水面施用剤を散布する。
- ③ 葉いもちの初発生は例年7月上中旬頃に確認されている。水田をよく見回り、発生を認めたら直ちに茎葉散布を実施する。病気の進展が止まらない場合は、5日程度おきに系統の異なる薬剤を散布する。

【この情報に関する問合せ先】

〒030-0113 青森市第二問屋町 4-11-6 青森県病虫害防除所
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900 担当：主幹 菊池晴志